



学校だより 第2号

菩

提

樹

平成27年5月

高岡市立東五位小学校



風薫る5月

フォロワーシップ

校長 吉田 茂

初夏を思わせる陽気が続き、心地よいさわやかな風が学校の隅々まで届きます。保護者の皆様、地域の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。今年度始まって早1か月が過ぎましたが、“チーム東五位”は今年度の学校の目標に向かって順調に滑り出しました。

毎朝、子供たちの登校の様子を菩提樹の傍らで眺めていると、心温まる光景が日々見られます。集団登校のリーダーが何度も後ろを振り返り、すぐ後ろを歩く1年生の様子を確認しています。「ちゃんと付いてきているかな。」「これぐらいの速さでいいかな。」と、リーダーとしての自覚をもち、グループの人を思いやる姿はとても微笑ましいものです。また、リーダーが「おはようございます。」としっかり挨拶をすると、それに誘われるように1年生や他のメンバーも挨拶をちゃんと返してくれるようです。この意味でもリーダーの役割や影響の大きさを感じます。

ところで、皆さんは「リーダー」という言葉を聞くと、どんな姿をイメージされるでしょうか。少々カリスマ性があり、グループの人や組織を強く引っばっていく、そういう姿を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。ある冊子に紹介されていた話ですが、日本ラグビー協会のコーチングディレクター：中竹竜二氏が実践されているスタイルは、リーダーシップの中でも**フォロワーシップ**という**“支える”**ことに重きをおいたものだそうです。中竹氏は、“強いイメージのリーダー像”とはかけ離れた自分の姿から、自分に最も適したリーダーシップの発揮の仕方を模索され、一つの結論に辿り着かれたそうです。それは、チームのメンバーの後ろや下から“支える”ことを徹底的に目指したわけです。チームのメンバーが自分から走り出してくれるように…、そのためにメンバーの力を最大限引き出す手助けの在り方を自分のスタイルとして確立されたのです。

今、上学年の子供たち、特に6年生は、登校班や清掃班、委員会やクラブ活動、運動会の色団等でリーダーとしての役割が期待されています。“強いイメージのリーダー像”を目指すのではなく、あくまでも自分をしっかり見つめ、自分に合ったスタイルでリーダーシップを発揮してもらいたいと思います。心の中でリーダーとしての自覚をぶれずにもち、一人一人に寄り添いながら個々の力を引き出しチーム力を高める、そんなリーダーに育ってほしいと願っております。

< 春の俳句紹介 >

- 2年 さくらさく これからぼくも 2年生
3年 見上げると さくらの花の りゅう星ぐん
4年 あっ注意 カモシカとびだし 春の道
ふきのとう開く もうすぐ4年生
5年 名ふだ見る まだ4年生 あわてて直す
6年 集団登校 新一年生の くつ光る
暗闇に 私を見てと 咲く桜

東五位“笑楽幸”を目指して

1年生の入学を祝う会の挨拶で、「笑顔」と「楽しい」そして「幸せ」をつないで、「笑楽幸」（しょうがっこう）と紹介しました。笑顔があふれて楽しく、幸せをたくさん味わえる、そんな学校を“チーム東五位”みんなで作りたいと思います。